

留 学 報 告 書

留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	ビュートカレッジ
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学を開始した時の学年	4年生

留学費用（概算）	
----------	--

授業料（プログラム費用）	42万1176円
保険料	29,365円
宿舍費（1か月あたり）	13万円（うち寮費用が10万円）
食費（1か月あたり）	ミールプラン
渡航旅費	15万円

滞在形態関連	
--------	--

1) 種類	寮。
2) 部屋の形態	個室。
3) 設備	お風呂（浴槽）。
4) 住居を探した方法	留学先大学のホームページ，留学経験者に聞いて。

現地情報	
------	--

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？	はい。
2) 現地で病院にかかったことはありますか？	いいえ。
3) 保険について，現地の医療保険に加入しましたか？	いいえ。
4) 留学にあたり，必須の予防接種はありましたか？	はい。ツベルクリン。
5) 学内外で問題が発生したときは，誰に相談しましたか？	留学先の友人，日本にいる友人や家族，大学の留学担当窓口，ホストファミリーやRA（レジデンスアシスタント）。
6) 現地の治安はどうでしたか？また，現地の危険地域情報をどのように収集し，どのよう	

な防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？
学生が多い街なのでそこまで治安は悪くありませんが、夜間の不要不急の外出は避けた方がいいです。特にダウントウンは夜はあまり近づかないようにしていました。また、ハロウィンなどの時期になると街中がお祭り状態になります。この時期は、寮のセキュリティが強化されて安心でした。
7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？
寮、大学の Wi-Fi は安定していて便利でした。屋外では、事前に大学から送付されてきた SIM カードを契約して使っていました。1 か月 2 ギガですが十分足りました。
8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？
基本的にクレジットカードを使用していました。VISA のクレジットカードがあればどのお店でも使用できます。現金は日本で事前に換金していきました（10 万円くらい）。チョコに換金所はないので、現金を使用したい場合は日本で余裕を持った金額を換金することをお勧めします。
9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？
とても田舎なので、どこへ行くにも公共交通機関（バス）か Uber が必要です。24 時間営業の大きなスーパーやコストコ、ウォルマート、100 円ショップやちょっとしたモールもあるので基本的に現地で何でも調達できます。私は現地でできた友達が車を持っていたので、一緒に買い物に行かせてもらっていました。日本からはインスタント系のものを持っていくといいと思います。
10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？
クレジットカード。
11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
Uber。
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。3 日間

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

履修した授業科目名
Fashion/Retail Careers
授業内容や試験、授業を受けた感想について

小売業に関する基礎的な学習をします。最初の数回はファッションの歴史について学習し、後半はアパレル業を例にとってどのように経営をするのかを学びます。試験は大きなものが2回、レポートが3回、プレゼンが1回ありました。先生はとても優しく、わからないところは理解するまでしっかり教えてくれました。

履修した授業科目名

Visual Merchandising

授業内容や試験、授業を受けた感想について

授業の半分の時間が座学、残りが実践のクラスです。ショーウィンドウの作成など、かなり大掛かりなプロジェクトが合計で5回ありました。教科書で学んだことを基に、自分でアイデアを構想して作成していきます。毎回発表の時には、自分の作品のコンセプトなどをみんなの前でプレゼンします。反対にクラスメイトの作品にも自分の意見を言います。即興で英語を話さなくてはならなかったのが大変でしたが、最後の方はすらすらと話せるようになっていました。

履修した授業科目名

Small Group Communication

授業内容や試験、授業を受けた感想について

少人数のグループを組んで、地域貢献できるテーマを1つ決めます。そのテーマを達成するためにグループで話し合いを重ね全体に発表します。大きなプレゼンは3回でした。毎週1回2時間以上集まって報告書を書く必要があったのが大変でした。この授業は先生によって大きく雰囲気や授業内容が変わってきます。私の取った先生の授業は、比較的拘束力の高いクラスだったのでストレスになることもありました。この授業を取りたい場合は、事前に現地の学生に感想を聞くことをお勧めします。

履修した授業科目名

Intercultural Communication

授業内容や試験、授業を受けた感想について

異文化間で生きるとはどういうことかということ学びます。世界中の文化を学習できて面白かったです。この授業は留学生が多いので、沢山の国の学生に会えてとても楽しかったです。テストは全部で4回、レポートが3回、発表が1回、大学内イベントへの出展も1回ありました。

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>留学はアメリカでしたいと決めていたので、アメリカで学校を探していました。</p> <p>その中でビュートを見つけたのですが、まず最初に、ここに行けば多くの分野から自分の学習したいものを選択できるという点に惹かれました。私はファッションに関する勉強をしたかったのですが、意外とこの分野が充実している所は少ないです。ビュートは専門分野としてあるのでここに行きたいと思いました。また、ビュートは留学生の受け入れに非常に慣れてしています。初めての留学で不安だったので、制度が充実しているここを選びました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>もともと 2 年生の時に留学をしたかったので、その頃から TOEFL の勉強などはしていました。ビュートへの留学が決定してからは、航空券の用意、寮の手続き、クレジットカードの作成、保険加入などをしました。一番大変だったのは寮の手続きです。基本的にメールでのやり取りなのでなるべく早い段階からコンタクトは取ったほうが良いです（返信が遅いため）。航空券も早めに取りないとどんどん価格が上がります。また、最寄りのサクラメント空港から寮までは車で 1 時間以上かかります。寮の受付が何時に閉まるかをきちんと確認して、それまでに到着できない場合は事前にサクラメントにホテルを取っておく必要があります。私は夕方到着だったので、サクラメントで一泊して次の日に入寮しました。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学中一番役に立ったのは Uber です。チコは田舎のため徒歩で行動できる範囲は限られています。そのためスーパーへ行くときや映画館へ遊びに行くときは Uber を使用していました。Lyft のほうが Uber よりも少し安く利用できます。ほかには、Amazon のアメリカ版のサイトに登録してそこで必要なものを購入していました。教科書も学校で新品を購入するより安く買えます。私は使用していませんでしたが、多くの友人は現地のバスの運行状況がわかるアプリを使用していました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>大学の雰囲気はとてもよかったです。前述のとおり留学生が多いので、困ったことや分からないことがあるとすぐに現地の学生がアドバイスをくれました。CAS という、チューターに直接分からないことへの質問やレポートの添削をしてくれる場所があったので、よくそこへ行って質問や添削をしてもらっていました。学生は、留学生サポートチームがいて、その人たちが最初のころは手助けをしてくれます。オリエンテーションも一緒にいてくれるのでとても安心です。皆とっても優しく、留学への不安や悩みなども聞いてくれます。</p>
<p>滞在先の雰囲気</p>	<p>滞在先のチコはとても穏やかで東京とは正反対の街です。その分交通面では不便なことがたくさんありましたが、それでも時間の流れがゆったりとしていて私は大好きでした。寮から歩いて 20 分くらい行くとダウントウンがあり、可愛いお店が並んでいます。Made in Chico というお気に入りのお店があったのでよく通っていました。ただし、夜になるとダウントウンの治安は悪くなるので近づかないことをお勧めします。ちなみにチコはパーティータウンとして有名で、ハロウィンは他の地域から観光客が来るくらい盛り上がります。私は少し怖かったのでダウントウンま</p>

	では行きませんでした。
留学先における交友関係	International Neighbors というコミュニティグループがあったので、そのイベントに参加して友達を作りました。週に2回コミュニティがあり、近所にあるカリフォルニア大学のキャンパスやオフィサーの家でゲームをしたりバイブルスタディをしていました。留学生と積極的にコミュニケーションをとりたい人たちが沢山いて、英語で話すだけではなく日本語を教えてあげたりしていました。皆とても優しく、帰国する前もたくさん手助けをしてくれました。ほかには、毎週末アパートに住んでいる友人の家で日本食を作ってみんなで食べたりしていました。
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	寮の部屋について、入居時から不備が多くそのたびにオフィスへ行って直してもらっていました。私はありませんでしたが、場合によってはデポジットからお金を取られることがあります。そのため、入居したらその日のうちに不備を確認して報告をしておいたほうが良いです。また、デポジットに関して、これは帰国後に起こったのですが、小切手で返金されてしまい大変困りました(日本で小切手を換金できる銀行はほとんどありません)。この小切手が留学を通して一番困りました。換金できる銀行が1つあるのでそこで口座を開設しましたが、開設するにもきちんとした理由がないといけません(小切手の換金だけでは開設は不可です)。できることなら留学という目的がある出国前に開設することをお勧めします。滞在中は、食に一番悩まされました。ジャンクフードばかりが食堂で出てくるので胃が疲れてしまい何も食べられなくなってしまったことがあります。日本からお米やお味噌汁を持っていくと胃が休まるのでお勧めです。
留学先における学習、課題や試験	勉強は毎日受験生くらいの時間を費やしていました。日本とは違い、毎回の授業でたくさんの宿題が出ます。また、予習範囲も広いので、学校が終わってから夕飯とお風呂以外の時間はほとんどStudy roomで勉強していました。勉強するうえで大切にしていたのは、相手に説明できるくらいになるまできちんと自分の中に落とし込むということです。慣れてくると、なんとなく教科書を読んでいるだけでも理解できてくるので、できたんだと勘違いします。実際にテストに挑むと全くできていなかったことがありました。ちゃんと応用できるくらい理解しないと勉強したことにはなりません。
大学外の活動(課外活動や自由時間など)	Small Group Communicationのグループ活動で、毎週大学外で集まる必要がありました。そこではプロジェクトの話し合いをしたり作業を進めていました。全員が集まることのできる日程を探さなくてはならなかったのが少し大変でした。ほかにはVisual Merchandisingで課外活動をしました。チコにあるモールへ行って、実際にどのようなショーウィンドウのデザインがあるかを調査して報告書にまとめるというものでした。他の授業は課外活動はありませんでした。自由時間は食堂でみんなとお昼を食べたり、図書館の自習スペースで課題をやっていたりしていました。

留学を志す人へメッセージやアドバイス

私は留学を4年生の秋学期にしました。正直、このタイミングで留学に行くのはすごく悩みましたしリスクであることも分かっていた。それでも留学をしようと決めたのは、この経験が後の自分の人生に絶対に大きな影響を与えてくれると思ったからです。その分、就活を早く終わらせなくてはいけないプレッシャーや、秋学期に同級生と一緒にいられない寂しさもありました。しかし、この留学で得た経験や知識は一生ものです。留学に行きたいと思っている人がいたら迷わず突き進んでほしいです。応援しています！